

H715

Reference

Hi-Fi接続対応
開放型スタジオヘッドフォン



オペレーティング
マニュアル

 **ADAM AUDIO**

ようこそ！

ADAM Audioをお選びいただき誠にありがとうございます。

Adam Audioの情熱が込められた、新しい**H715 Reference**ヘッドフォンをどうぞお楽しみください。本製品は、厳格な品質基準に基づいて設計・製造されており、長年にわたり安心してお使いいただけます。

H715 Referenceの製品登録はこちら：<https://id.focusritegroup.com/>

ベルリンより感謝を込めて



Christian Hellinger
最高経営責任者

目次

1.	安全上の重要な注意事項	4
2.	同梱品	5
3.	接続の種類	5
	3.1 スタジオ・モードでの接続	6
	3.2 HI-FIモードでの接続	8
4.	H715 REFERENCEの装着方法	9
5.	イヤーパッドの交換	10
6.	ヘッドバンドの交換	11
7.	付属ソフトウェア	12
	7.1 HEADPHONE UTILITY プラグイン	12
	7.2 SONNOX LISTENHUB	13
8.	輸送の際の注意	14
9.	技術データ	14
10.	交換部品とアクセサリー	14
11.	修理・サービス	14
12.	ノート	15

1. 安全に関する重要事項

本製品をご使用になる前に本マニュアルをよく読み、記載されている指示に従ってお使いください。



アイコンについて

正三角形の中の感嘆符は、機器に付属する文書に記載された、操作およびメンテナンスに関する重要な注意事項をユーザーに知らせるものです。

- 製品を使用する前に、本マニュアルをよくお読みください。
- 明らかな不良品である場合は、製品を使用しないでください。
- 本製品を第三者に譲渡する場合は、必ず本マニュアルを同梱してください。
- 誤飲や窒息の危険を防ぐため、本製品、アクセサリ、梱包材は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 周囲の音を聞き取る必要がある状況では、本製品を使用しないでください。

健康上の注意事項

- 本ヘッドフォンは、85dB(A)を超える音圧レベルを出力する場合があります。高い音量レベルで使用すると、聴覚障害を引き起こす可能性があります。音への暴露量は、音量レベルと暴露時間によって決まります。低い音量レベルで長時間使用する場合と、高い音量レベルで短時間使用する場合では、耳への負担が同程度になる場合があります。本製品を使用の際はご注意ください。
- 本製品は、ペースメーカーや植込み型除細動器に影響を及ぼすおそれのある強い静磁場を発生します。

製品の損傷を防ぐために

- 本製品を雨や湿気にさらさないでください。また、液体で濡らしたり、本体に直接液体をかけたり、こぼしたりしないでください。
- 本製品を極端に高温または低温の環境にさらさないでください。
- 直射日光の当たる場所に製品を放置しないでください。
- 清掃には、糸くずの出ない乾いた布のみを使用してください。

2. 同梱物

- | | |
|--|----------------------------------|
| → H715 Referenceヘッドフォン × 1 | → 6.3 mm (1/4インチ・ジャック) アダプター × 1 |
| → ハードシェル・ケース × 1 | → モード切り替え用金属ピン × 1 |
| → 1.3 mカールコード式スタジオ・ケーブル × 1 片側接続、伸長時3 m、3.5 mm TRS端子 | → 柔らかな布製イヤークッション × 2 |
| → Hi-Fiケーブル (3 m) × 1 両側接続 4.4 mm Pentaconn端子付き) | → 合成皮革製イヤークッション × 2 |
| | → クイック・スタート・ガイド × 1 |

3. 動作モード

H715 Referenceは、左右のグラウンドを共通にする「スタジオモード」と、左右のグラウンドを分離してバランス接続に対応する「Hi-Fiモード」の2種類の接続モードを備えています。各モードは、左側のイヤークッションに埋め込まれた小さなボタン（共通グラウンドまたは独立グラウンド）で切り替えます。**初期設定では、スタジオ・モードに設定されています。**



Hi-Fiモードに切り替えるには、付属の金属ピンを使ってボタンを押します。「カチッ」という音がすると、左右のイヤークッション間で共有されていたグラウンドが分離され、Hi-Fiモードが有効になったことを示します。ボタンをもう一度押すと共通グラウンドに戻り、スタジオ・モードが有効になります。

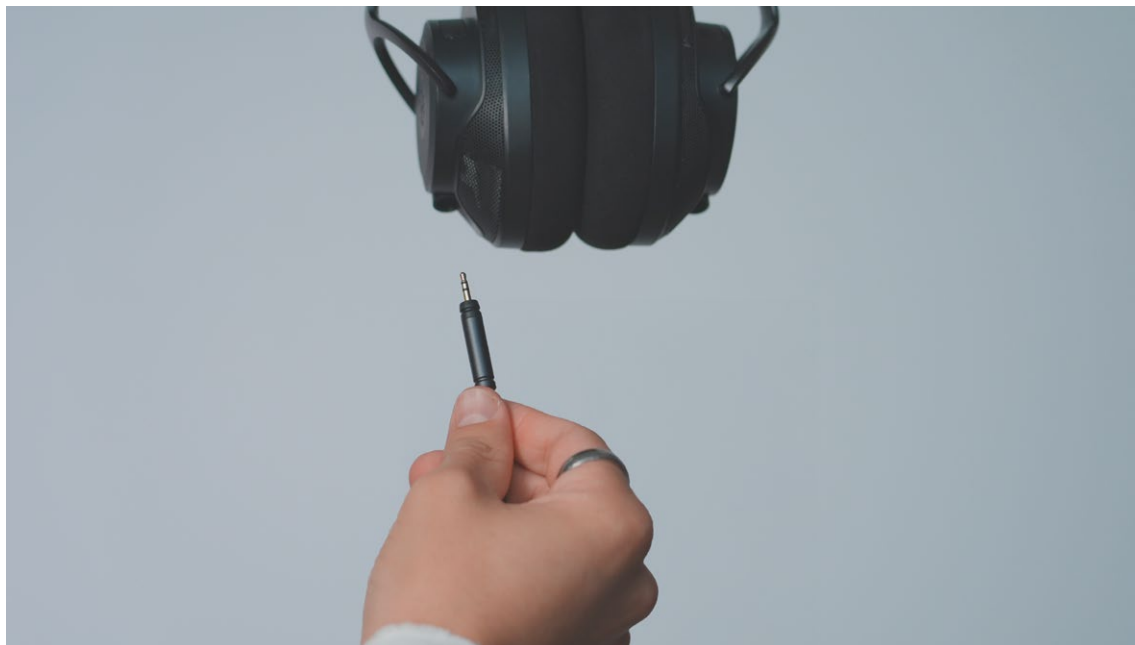
どちらのモードが有効になっているか分からない場合は、ヘッドフォンの片出しケーブルを、アンプまたはオーディオ・インターフェースに接続してください。左右両方から音が聞こえる場合は、スタジオモードが有効になっています。ケーブルを接続した側のイヤークッションからのみ音が聞こえる場合は、Hi-Fiモードが有効になっています。

3.1 スタジオ・モードでの 接続



1) 確認

スタジオなどの業務用機器が使用される環境で本製品を使用する場合は、付属のカールコード式スタジオ・ケーブルをお使いください。



2) 接続

H715 Referenceの**左右いずれかのイヤークップにある端子**に、2.5 mmミニプラグを差し込みます。「カチッ」という音がするまでしっかりと差し込んでください。

電源を切った状態で、ケーブルの反対側をスタジオ機器に接続してください。必要に応じて、付属の3.5 mm → 6.3 mm変換アダプターをお使いください。



左右どちらのイヤークップに接続しても、1つの端子を通じてステレオ音声を送ります。どちらに接続した場合も、左右のチャンネルは正しく再生されます。

3) 調整

Hi-Fiモードが有効になっている場合は、片側のイヤークップからしか音は聞こえません。前述の手順に従い、金属製のピンを使用してスタジオ・モードを有効にしてください。

接続とモードの調整が完了したら、音量を最小にした状態で再生機器の電源を入れてください。音源を再生しながら、音量を安全で快適なレベルまで徐々に上げてください。

3.2 Hi-Fiモードでの接続

1) 確認

ヘッドフォンをHi-Fi機器にバランス接続する場合は、付属の両出しタイプのストレートHi-Fiケーブル（3 m）をお使いください。このケーブルには、Hi-Fi機器との接続に使用する4.4 mm Pentaconnプラグが付いています。



2) 接続

2つの2.5 mmミニプラグを、H715 Referenceの**左右のイヤークップ**にそれぞれ「カチッ」と音がするまで差し込みます。

接続先の機器の電源を切った状態で、ケーブルの反対側にある4.4 mm Pentaconnプラグを再生機器に接続します。

3) 調整

ソース機器の電源を切ったまま、前述の手順に従って金属製のピンを使用し、Hi-Fiモードを有効にしてください。これにより共通グラウンドが分離され、Hi-Fi機器から左右のイヤークップに独立したバランス信号を伝送できるようになります。

接続とモードの設定が完了したら、音量を最小にして機器の電源を入れます。音源を再生しながら、音量を安全で快適なレベルまで徐々に上げてください。

4. H715 Referenceの装着方法



イヤークップの「**L(左)**」と「**R(右)**」の表示で、H715 Referenceの正しい向きを確認します。



両方のイヤークップを下に引き、耳を心地よく覆う位置に調整します。イヤークップは回転する構造になっており、耳の周囲の頭部の形状にフィットして、圧力を均等に分散します。

5. イヤーパッドの交換

さまざまな用途で快適にお使いいただけるよう、H715 Referenceには2種類のイヤーパッドが付属しています。布製イヤーパッドが出荷時に装着されており、交換用として合成皮革製イヤーパッドが付属しています。

いずれもマグネット式で、簡単に交換できます。イヤーパッドを取り外すには、ドライバー・ハウジングからイヤーパッドを引っ張り、取り付け面から外してください。別のイヤーパッドや交換用イヤーパッドを取り付ける場合は、取り外しと逆の手順で行ってください。



ヘッドフォンのチューニングは、あらかじめ装着されているソフトクロス製イヤーパッドに合わせて最適化されています。付属のHeadphone Utilityプラグインでは、合成皮革製イヤーパッドに最適化された設定を選択できます。**詳細は、7章をご覧ください。**

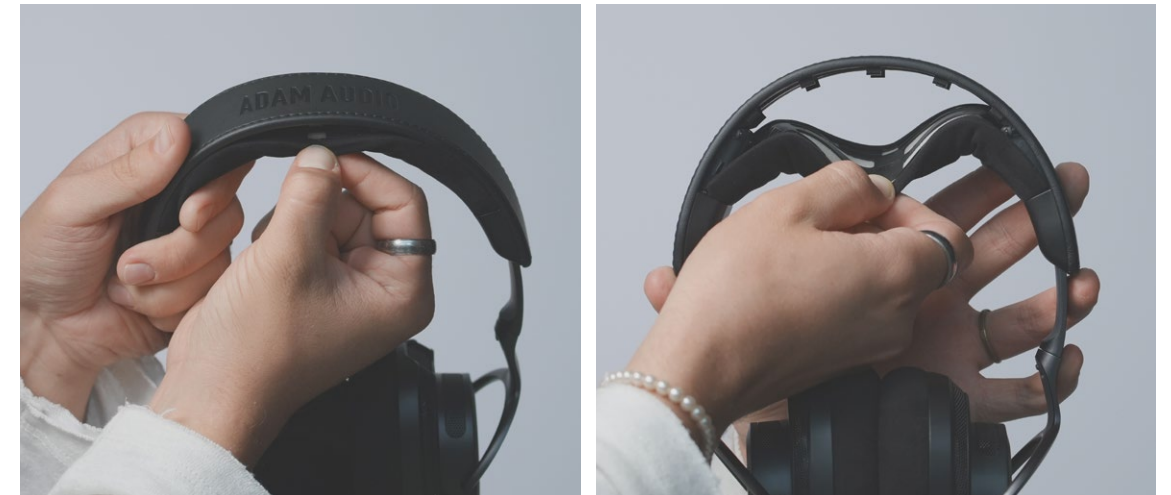


イヤーパッドは経年劣化するため、2年ごとの交換をおすすめします。これにより、快適な装着感と最適な音響性能を維持できます。

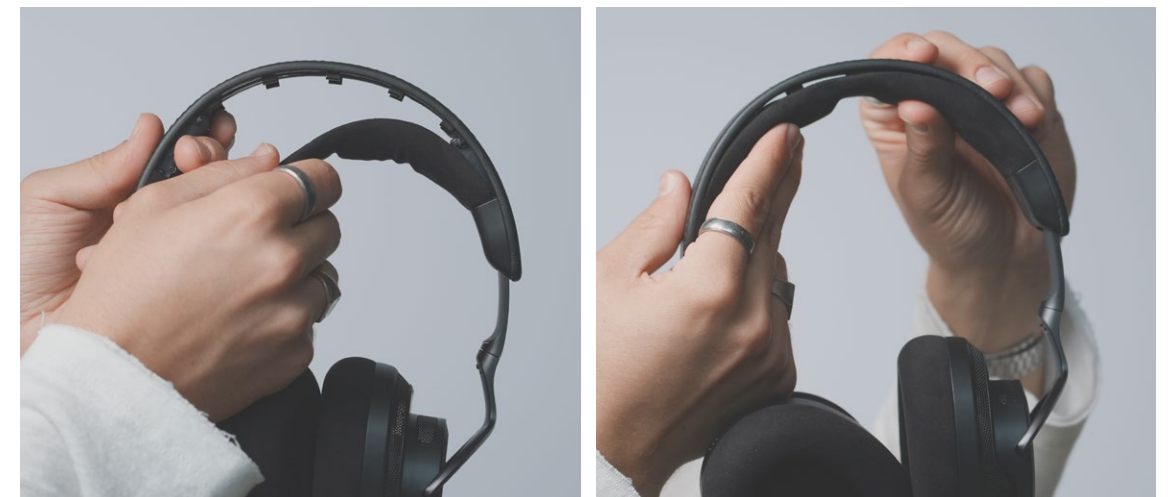
6. ヘッドバンドの交換

イヤーパッドと同様に、ヘッドバンドも経年劣化します。H715 Referenceは、必要に応じてヘッドバンドを簡単に交換できる設計になっています。交換用ヘッドバンドは、<https://shop.adam-audio.com/> またはお近くの販売店でお求めいただけます。

ヘッドバンドのパッドを取り外すには、中央部分をしっかりと引っ張り、ヘッドバンドから完全に外れるまで引き抜いてください。



ヘッドバンドのパッドを交換するには、取り付けるパッドの一方の端をヘッドフォンのエンドキャップに差し込み、そこから反対側に向かって、パッドをヘッドバンドに順番にはめ込んでいきます。反対側の端をもう一方のエンドキャップに差し込みます。



数回カチッとはめ込むと、新しいパッドがヘッドバンドに隙間なく収まります。

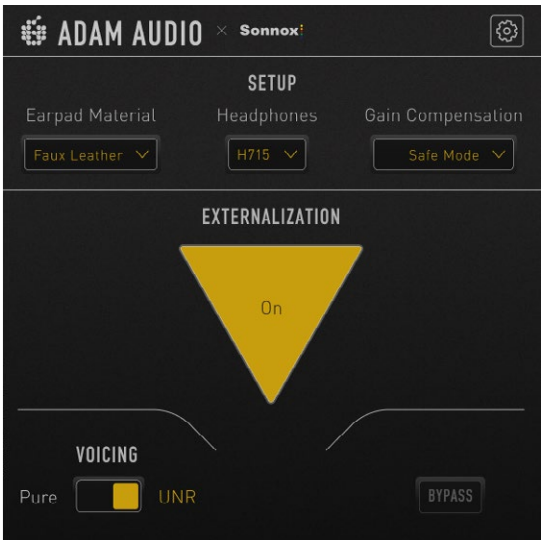
7. 付属ソフトウェア

H715 Referenceには、機能を拡張し、より快適にお使いいただくための各種ソフトウェアが付属しています。ソフトウェアはこちらからダウンロードできます：
<https://downloads.adam-audio.com/adam-audio/headphones>

7.1 Headphone Utility プラグイン

Headphone Utilityプラグインには、ADAM Audioヘッドフォンの音響性能を最適化するためのさまざまな機能が用意されています。

機能の概要



イヤードットの素材	イヤードットの素材に合わせて最適化された専用のEQカーブを適用します。
Headphones	使用しているADAM Audioヘッドフォンのモデルを選択します。
Gain Compensation	イヤードットのEQに応じてゲインを調整し、聴感上の音量レベルを一定に保ちます。
セーフモード	イコライゼーション中にプラスのゲインが適用されないようにします。
EXTERNALIZATION	ユーザーが調整できるクロスフィードにより、ラウドスピーカーでのミックスをヘッドフォンでより適切に再現できます。

VOICING:PURE	ミキシング、マスタリング、音質評価に適した、極めて正確でニュートラルなサウンド特性になるよう、周波数特性を補正します。
VOICING:UNR	UNR (Uniform Natural Response) は、ADAM Audioが独自に設計したレスポンス・カーブを適用し、ダイナミックで自然なサウンドを実現します。往年の名機の数々から着想を得たサウンド特性で、創造性やスムーズなワークフローが求められる音楽制作、作曲、ソングライティングに適しています。

Headphone Utilityプラグインは、VST3、AU、AAXに対応しています。DAW上での動作を想定していますが、ListenHubを使用することでスタンドアローンでもお使いいただけます。詳しくは、次の章をご覧ください。

7.2 SONNOX LISTENHUB

ListenHubは、イコライゼーションのエキスパートであるSonnoxが開発した、高度な音声解析、ミックス比較、バーチャル・モニター・コントロール機能を備えたシステムです。DAW、ストリーミング・サービス、またはローカルに保存されたオーディオ・ファイルなどから音声を取り込むためのデジタル入出力機能を備えています。スペクトルとステレオ幅を解析することで、特定の周波数帯域やミックスの空間的広がりを個別に確認でき、適切な判断をサポートします。さらに、ヘッドフォンとスピーカーを含む2つのモニタリング・システムを出力段で切り替えることができます。詳しくは、こちらをご覧ください：<https://sonnox.com/products/listenhub>



macOSでは、ListenHubをスタンドアローン・アプリケーションとして利用できるほか、コンピューターのサウンド設定で独立した音声出力先としてListenHubを選択できます。ListenHubの出力段ではプラグインを使用することもできるため、Headphone Utilityプラグインを読み込むことで、音声ソースに関係なく、H715 Referenceのキャリブレーションをシステム全体に適用できます。

ADAM AUDIO GMBH

ベルリン、ドイツ

T +49 30-863 00 97-0

H715 Reference マニュアル © ADAM Audio GmbH 2026

本書に記載される情報に誤りが無いよう万全を期しておりますが、内容の誤りや記載漏れについて
ADAM Audio GmbHは責任を負いません。ハードウェアおよびソフトウェアの仕様は、予告なく変更
されることがあります。

製品：H715 Reference ヘッドフォン

EU登録番号：015061185-0001、英国登録番号：6406437

WWW.ADAM-AUDIO.COM



ADAM AUDIO